

# 椰子の実

本調子

中	尺	中	上	四	中	上	工	合		上		四		中	尺
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	--	---	--	---	---

	合	四	中	上		合		合	上	尺	中	尺	上		
	な	も	し	ら		ぬ		と	お	き	し	ま	よ		

老	四		上	中	尺		中	四	合		四	中	上	上	四
り	な		が	れ	よ		る	や	し		の	み	ひ	と	つ

	工	工	中	上	四	中	工	中	四		中	四	上	中	尺
	ふ	る	さ	と	の	き	し	を	は		な	れ	て	な	れ

	尺	中	上	四	中	上	工	合		上		四			
	は	そ	も	な	み	に	い	く		つ		き			

工	工	中	上	四	中	工	中	四		中	四	上	中	尺	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--

尺	中	上	四	中	上	工	合		上		四				
---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	--	---	--	--	--	--

# 椰子の実

本調子

2 / 2

一、名も知らぬ 遠き島より  
流れ寄る 椰子の実一つ

二、旧（もと）の木は 生（お）いや茂  
れる  
枝はなお 影をやなせる

故郷（ふるさと）の岸を 離れて  
汝（なれ）はそも 波に幾月（いく  
つき）

われもまた 渚（なぎさ）を枕  
孤身（ひとりみ）の 浮寝（うきね  
）の旅ぞ

三、実をとりて 胸にあつれば  
新（あらた）なり 流離（りゅうり  
）の憂（うれい）

海（うみ）の日の 沈む（しずむ）を見れば  
激（たぎ）り落つ 異郷（いきょう  
）の涙

思いやる 八重（やえ）の汐々（し  
おじお）  
いずれの日にか 国（くに）に帰らん